

射水市教育委員会 5 月定例会会議録

開会日時 令和 4 年 5 月 2 5 日 (水) 開会 午後 3 時 0 0 分
閉会 午後 4 時 1 0 分

会議場所 市役所 4 階 会議室 4 0 1

出席委員

金谷教育長、眞岸委員、宮原委員、野上委員、村上委員

会議事件説明員

久々江事務局長、塩谷事務局次長 (生涯学習・スポーツ課長)、六渡事務局次長、星野学校教育課長、寺島教育センター所長、北村スポーツ施設整備班長、小谷内学校教育課副主幹、安元学校教育課長補佐、田中生涯学習・スポーツ課長補佐、鳥本生涯学習・スポーツ課長補佐、高井学校教育課総務企画係長

傍聴人数 なし

会議の要旨

午後 3 時 0 0 分、教育長が開会を宣した。

1 会議録の承認

承認された。

2 事務局報告

- (1) 令和 4 年 6 月射水市議会定例会会期日程 (案) について
教育委員会事務局長が、資料 1 に基づき説明した。
- (2) 令和 4 年 6 月一般会計補正予算 (案) について
教育委員会事務局長が、資料 2 に基づき説明した。
- (3) 令和 4 年 6 月射水市議会定例会提出議案について
教育委員会事務局長が、資料 3 に基づき説明した。

3 各課等の連絡事項及び報告事項

- (1) 休日の学校部活動の地域移行のモデル事業の実施について
学校教育課長が、資料 4 に基づき説明した。
- (2) 地域文化財総合活用推進事業 (地域の伝統行事等のための伝承事業) について
事務局次長 (生涯学習・スポーツ課長) が、資料 5 に基づき説明した。
- (3) SOMPO BALL GAME FESTA in 射水
事務局次長 (生涯学習・スポーツ課長) が、資料 6 に基づき説明した。
- (4) 教育相談事業及び教育支援センター「いみずの」について
教育センター所長が、資料 7 に基づき説明した。
- (5) 教育委員会行事予定
学校教育課総務企画係長が、資料 8 に基づき説明した。

4 その他

- (1) 次回教育委員会の開催日時について
6 月定例会 6 月 2 7 日 (月) 午後 3 時 3 0 分から 市庁舎 4 0 1 会議室

5 議 事

(1) 休日の学校部活動の地域移行のモデル事業の実施について

[委 員] バスケットボールは、全中学校に部活動があるのか。

[事務局] 全ての学校ではないが、男子は3校、女子は5校にバスケットボールがある。

[委 員] 指導者の確保が大変ではないか。

[事務局] 競技団体ではモデル事業の実施に前向きに捉えてもらっており、指導者の確保は可能と考えている。

[教育長] 射水市としては、国や県への重点要望の中で、新規で財政支援をお願いする。各市町村からも同様の動きがあると聞いている。

[委 員] 国は、モデル事業として補助は出すが、問題はその後の話である。色々なパターンを考えていただき、良いモデル事業となるよう心掛けてほしい。

[委 員] モデル事業として手を挙げられた3競技のうち、柔道連盟の教室はボランティアでやっておられたと思う。会場使用料や保険料は、受益者負担であったのか。

[事務局] 会場使用料は受益者負担、保険料は連盟負担である。

[教育長] 謝金の問題はあるが、子ども達が安全にかつ専門的な取組が可能となる仕組みとなるよう期待している。今後、モデル事業を実施していく中で、随時、状況を報告したい。

(2) SOMPO BALL GAME FESTA in射水

[委 員] オリバースポーツフィールド完成に伴う事業である。多くの方に参加いただきたい。

[事務局] 市公式ラインでの案内を実施した。今後、市長記者会見に周知を図る。

[委 員] 保育園にも案内は送付されているのか。

[事務局] 送付している。

[委 員] キッズ・チャレンジのトップアスリートは誰が来られるのか。

[事務局] 現在未定である。

(3) 教育相談事業及び教育支援センター「いみずの」について

[委 員] 教育支援センターに学習専用端末を持参しているお子さんはいるか。

[事務局] 数名持参している。

[委 員] チームスに接続し、学校の授業に参加しているのか。

[事務局] そのような状況には至っていない。

[委 員] 教育支援センターに行きたいが、家庭の事情で行けていないお子さんがいると聞いている。家庭と教育支援センターとのオンライン接続は可能か。

[事務局] 子どもが持っている学習専用端末では、布目庁舎のWi-Fi環境に接続ができない状況である。モバイルルーターを活用しているが、オンラインの環境が厳しい。

[委 員] 予算上の問題もあるが課題である。

[委 員] 射水市民病院の「子どものこころの外来」の申込状況は。

[事務局] 現時点では7名の申し込みがあり、全て市内の児童生徒である。

[委 員] 今後の状況等についても教えていただきたい。

(4) その他

[委 員] 令和のとやま型教育推進事業については、小中連携の取組であるのか。総合的な学習の時間を各校で特色をもたせて実施する取組なのか。

[事務局] 基本的には、各校単体での実施である。SDGsやICT等、各校が推進する特色ある取組を進めるものである。

[教育長] 県教委では、新学習指導要領の中のキーワードである、問題解決型学習、SDGs、英語学習等の様々な分野の研究を進め、子ども達に必要な力の身に付けさ

せたいということである。

なお、小中の情報交換、連携は必要であると考えている。今年度は、令和の
やま型事業の実施案内が遅かったため、各校単体の取組となったものである。

午後4時10分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。